

オフィスビル最前線

THE FOREFRONT OF OFFICE BUILDINGS

1

日本を代表するビジネスセンターである、丸の内エリアは、いま再開発プロジェクトが目白押しである。丸の内を皇居を眼前にその緑を望む絶好の立地に、東京海上ビルディング新館がある。

東京海上ビルディング新館
東京海上火災保険株式会社

日本一のビジネスセンター“丸の内”

東京・丸の内地区は、いつの時代も日本一のビジネスセンターという言葉で形容されてきた。皇居、JR東京駅に各々隣接し、日本の近代化を支えた象徴としても「丸の内」は語られる。また、日比谷公園等の大規模な緑地、空間があり、皇居のお濠や森という独自のランドスケープ（景観）が、江戸以降今日まで継承されているのも地域特性のひとつ。

業務立地特性としては、日本の鉄道網の最重要中枢駅である「東京」駅に隣接することに加え、地下鉄網のターミナル機能をもつ「大手町」駅もあるなど交通利便性にすぐれ、金融関係を中心とした大手有力企業

の本社が集中している。

皇居の緑を望むやすらぎの環境

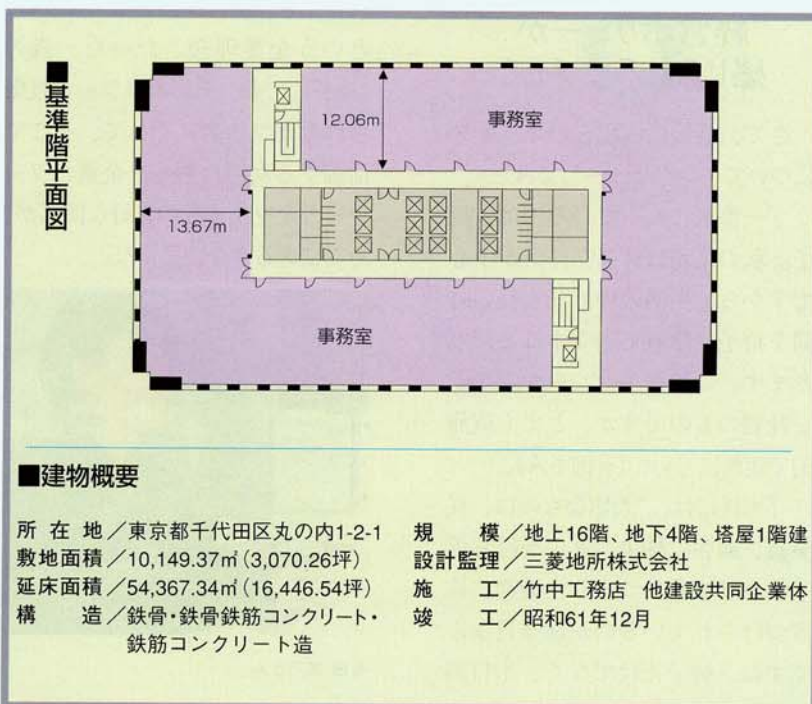
この東京駅と皇居外苑に挟まれた格調高いロケーションに、昭和61年に竣工したのが、「東京海上ビルディング新館」である。

同ビルは、東京駅丸の内駅前広場から皇居へ向かう行幸道路と日比谷通りの交差点近くに位置し、和田倉濠に面しており、眺望にも恵まれている。さらに、JR「東京」駅、営団地下鉄「大手町」駅には専用地下道で直結。それぞれ徒歩1分から5分以内で結ばれているほか、羽田空港、成田空港にも至便なアクセスで、抜群の交通ネットワークを誇る。

オフィススペースは、ワンフロア580坪の無柱によるレイアウトフリーの空間。開放感のあるオフィスフロアからは、皇居外苑の四季を楽しめる、安らぎの環境となっている。安全性についても配慮がなされ、新耐震基準を満たす安心の設計、24時間体制の防災センターが常にビルの安全を維持している。そして、利便性の高い飲食店舗、物販店舗、診療所等の多彩なビル内施設も充実している。

丸の内エリアは、丸ビルの平成14年の竣工、三菱商事新本社ビルの同19年の竣工など、再開発プロジェクトが目白押しである。「大手町・丸の内・有楽町地区街づくり懇談会」が発表した「同地区まちづくりガイドライン」では、行幸道路は、東京を代表する公的空間として整備するとされている。具体的には、東京駅赤レンガ駅舎の復元や駅前広場の整備、行幸道路の景観整備などである。

新時代の“丸の内らしさ”の再構築に向け、総合的、一体的な街づくりで、新たな都市景観の形成が推進されている丸の内エリア。そのような中で、東京海上ビルディング新館は、その多彩な機能に加え、格調高いロケーションで、これからも地域を代表するオフィスビルのひとつとして注目されていくだろう。



TOKYO MARINE NEW BUILDING



皇居の緑を望むやすらぎの環境

抜群のネットワーク

安全でゆとりあるオフィススペース

利便性の高い多彩なビル内施設



お問い合わせ先

東京海上火災保険株式会社

不動産テナント営業グループ

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬1-4

TEL043-299-5105